

Advanced Liberal Arts

Global Resource Management

Doshisha University

複雑化した社会で求められる
高度なリテラシーを身につけるために

社会で活躍する GRM修了生 一問一答



2012年度から始まったGRMプログラム。これまで数多くの学生が濃密な経験を積むことで、グローバルリーダーとしての力を磨き、社会へと羽ばたいていきました。活躍するフィールドは多種多様。現在、世界中の様々な舞台上で活躍する修了生たちの声をご紹介します。

Q1 GRMに参加した動機は何ですか。

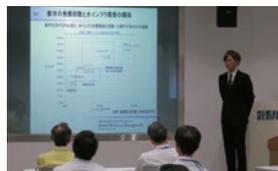
A 研究支援が充実していたこと、社会課題解決への貢献を志向し、既存の学問分野の垣根にとらわれない「文理融合」を掲げていることに魅力を感じたからです。
(森山 拓也 さん)

専門以外に対しても視野や知識を広げたく、様々な背景を持つ人と交流する機会を増やしたいと考えたからです。
(向山 智之 さん)

自身の理系のバックグラウンドと人文科学で得た知識を結びつけるのに完璧なものだったからです。
(Mostafa Khalili さん)

GRMプログラムの目標に興味があり、国際的な研究者と一緒に学ぶことを求めていたからです。
(張 文煜 さん)

「文理融合」というコンセプトに興味があったからです。
(楊 慧敏 さん)



Q2 今の進路を選択した決め手は何でしたか。

A NGO/NPOには政府や企業から独立した専門家集団として、政策提言や情報発信を通じて市民の政治参加をリードする役割があり、様々な経験ができる面白さがあると思ったからです。
(森山 拓也 さん)

研究者として新しいものを創りたいと考えていましたが、同時にそれを実現できる、世の中に出すことができる環境が良いと考え、企業の研究所を選択しました。
(向山 智之 さん)

学際的な議論が活発に行われることです。
(Mostafa Khalili さん)

国際的な企業であり、業務内容が研究分野と似ていたことです。
(張 文煜 さん)

自分が興味をもつテーマの研究を継続して行えると思ったからです。
(楊 慧敏 さん)

Q3 企業で働いていてGRMプログラムを学んでよかったと思うとき、役立ったときはどんなときですか。

A 文理や学問分野の垣根を越えた視点で課題に向き合い、必要であれば新たな専門分野も学ぶ態度をGRMプログラムの中で身に付けたことで、自分の専門分野内に閉じこもらず、解決すべき課題に向き合えていると感じます。
(森山 拓也 さん)

早くからSDGsなど世界規模で取り組まれている事柄に対して、学ぶことができたことだと思います。
(向山 智之 さん)

GRMプログラムは、現在のプロジェクトにおいてタスクマネジメントやコミュニケーションスキルを高めることに役立っています。
(Mostafa Khalili さん)

特に効果的なコミュニケーションにおいて役に立っています。テクノロジーのことについて説明するとき、相手が理解しやすい方法で伝えることというような場面です。
(張 文煜 さん)

困難に直面したとき、物事を多面的に考えることができるようになりました。
(楊 慧敏 さん)



社会で活躍する GRM 修了生 一問一答



Q4 今後、社会で博士学位取得者の活躍の場が広がることにどのような展望を持っていますか。

A 前例にとらわれない柔軟な姿勢でキャリアプランを練り、新しいことに挑戦することで活躍の場を広げられると思います。

(森山 拓也 さん)

博士学位取得者は自分の専門と違うことにも少し目を向けることで新たな発見に繋がり、より社会に求められる人材になると考えています。

(向山 智之 さん)

博士学位を取得することは、クリティカルシンキングの能力を高めるのに最適な訓練であり、その能力が地球の持続可能な発展を実現するために最も重要だと考えています。

(Mostafa Khalili さん)

願わくば博士学位取得者たちが、私たちの社会を支える柱石となってほしいです。

(張 文煜 さん)

社会全体だけでなく、地域そして個人々のニーズを把握した上での技術開発、福祉支援が行えることを期待しています。

(楊 慧敏 さん)

Q5 GRMプログラムへの参加を迷っている後輩たちへ一言メッセージをお願いします。

A 自分の関心や疑問を追求して専門性を獲得する経験は、その後も様々な場面で発揮できる強みになるはずです。そのためにGRMプログラムが役立つと思うなら、ぜひ活用してみてください。

(森山 拓也 さん)

GRMでは、一般的な学生生活において得にくい経験を数多く得ることができます。迷っている人は是非とも参加してみてください。

(向山 智之 さん)

もし、あなたが非常に魅力的で学際的な研究環境を探しているなら、私はGRMプログラムを強くお勧めします!

(Mostafa Khalili さん)

何も失うものはありません。履修しないなんてもったいないですよ。

(張 文煜 さん)

迷うのは、GRMプログラムに参加したい証拠。

(楊 慧敏 さん)



回答者



博士学位取得:2019年度

研究科・専攻: グローバル・スタディーズ研究科
グローバル・スタディーズ専攻

森山 拓也 さん

就職先

気候ネットワーク(環境NGO)



博士学位取得:2019年度

研究科・専攻:理工学研究科 機械工学専攻

向山 智之 さん

就職先

株式会社いすゞ中央研究所



博士学位取得:2020年度

研究科・専攻: グローバル・スタディーズ研究科
グローバル・スタディーズ専攻

Mostafa Khalili さん

就職先

京都大学 白眉センター



博士学位取得:2021年度

研究科・専攻:理工学研究科 応用化学専攻

張 文煜 さん

就職先

日本マーテック株式会社



博士学位取得:2021年度

研究科・専攻:社会学研究科 社会福祉学専攻

楊 慧敏 さん

就職先

公立大学(助教)

分野・領域横断型教育で現実社会の困難を克服する知恵とリテラシーを獲得する

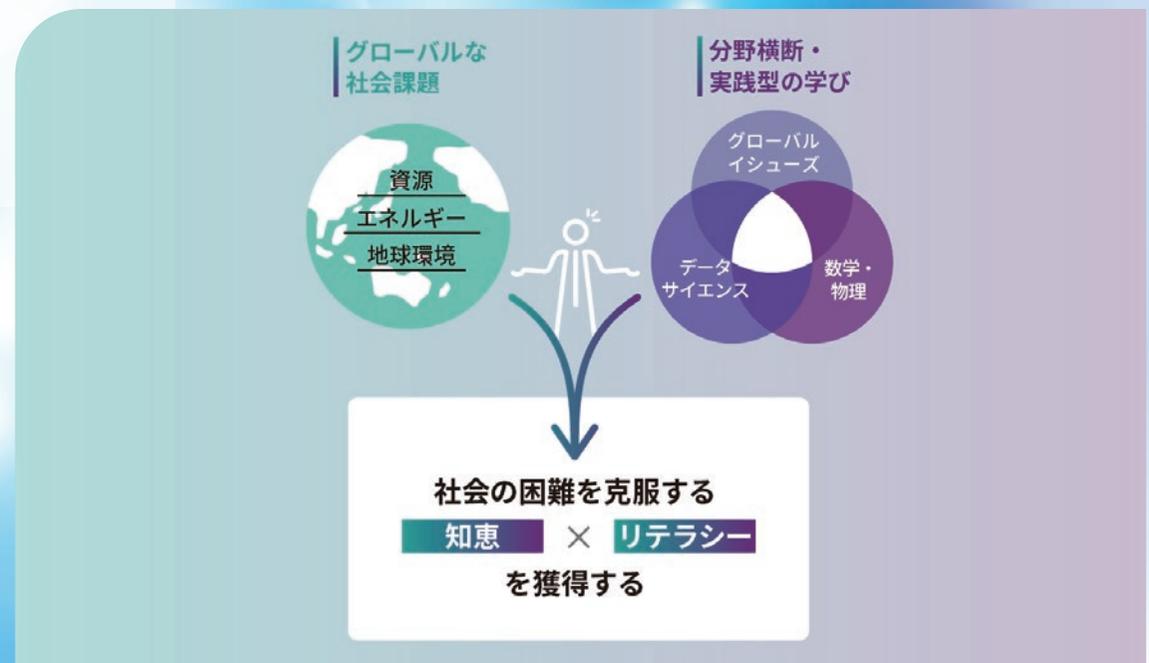
グローバル・リソース・マネジメント (GRM) コースは、様々な学問的バックグラウンドを持つ大学院生が自身の所属する研究科や国籍の壁を越えて共修する「分野・領域横断型教育」によって大学院レベルの高度なリテラシーを身に付けることを目的としています。

ここでいうリテラシーとは、単なる読み書きの能力ではありません。学んだ知識や情報を活用して事象を読み解き、主体的に判断できる能力のことを指します。

グローバル・リソース・マネジメントコースが養成する人材

「Conエンジニア、イノベーター」の育成

GRM コースでは、科学と科学、科学と技術、技術と技術を掛け合わせた「知恵」と人に寄り添う「良心」を有する人材、すなわち「Conエンジニア、イノベーター」を理工学的アプローチと人文社会科学的方法の双方から養成します。



コースの特色と目指す人材像 -多様な他者と共に困難を克服できる人材-

1 困難を克服する「知恵」と「リテラシー」を身に付ける

不確かかつ複雑で曖昧さを含んだ現代社会は、将来の予測が一層困難な状況を迎えています。GRMでは、世界を一変させるような困難に遭遇しても、思考を巡らせ科学を実地に応用し、実践的なヒューマンスキルを駆使して克服する「知恵」や他者と共に立ち向かう強靱な「リテラシー」を身に付けます。



3 英語で学ぶ、敢えて困難に挑む

GRMでは英語を学ぶのではなく、英語「で」学びます。GRMでは、様々な国籍の学生が共修します。授業はもちろん、学生の発表も英語で行われますが、英語が得意でない学生も多く履修しています。始めは上手くいかなくても、敢えて困難な状況に身を置き何度も挑戦する経験により、学生は自身の想像を超えた成長を遂げます。



2 現場で学ぶ、現地に学ぶ

GRMでは2012年のプログラム開設から一貫して、現場を訪れ、現地で現実に触れることを重視してきました。学生は現地で現実社会が抱える困難な状況を体感し、自分の現在の能力を知ります。その経験からGRMで何を学び、これからどのような能力を獲得すべきか深く考えます。現場と教室での学びの両立。これが今に続くGRMの理念です。



4 大学院修了後のキャリア形成につながる

所属の研究科で身に付ける専門性とは別の視点から、大学院生にふさわしい基盤的な能力を獲得します。GRMで身に付けたひとつの領域にとどまらない知識や複眼的な視野は、大学院を修了した後のキャリア形成に大いに役立ちます。



プログラム全体像

GRMコースについて (Course Program)

GRMコースは、博士課程前期課程および後期課程に所属する全研究科の大学院学生を対象とした大学院共通教育プログラムです。

GRMコースは、所属の研究科・専攻の教育課程とは別に履修し、コースの修了に必要な単位(5科目10単位以上)を修得します。所定の単位を修得し、プログラムの修了を認定された履修生には、学長から修了証を授与します。

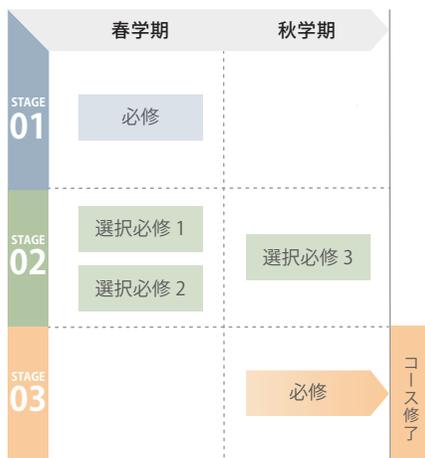
GRMコースでは、登録できる科目数に上限を設けていません。したがって1年で5科目10単位を修得し、コースを修了することも可能です。あるいは、複数年にまたがって計画的に履修し、修了することも可能です。

さらに、課程や学年に関係なくコースの履修を開始することができます。たとえば博士前期課程2年次や、博士後期課程から開始することも可能です。

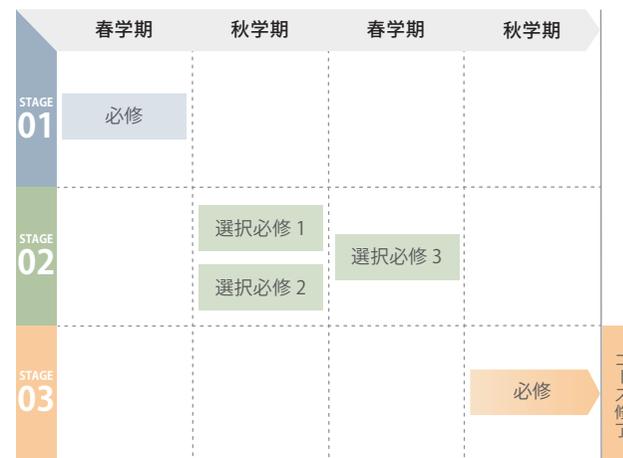
履修開始から修了に至るまで、コース履修生の計画次第で柔軟な履修計画を立てられることもGRMコースの大きな魅力です。



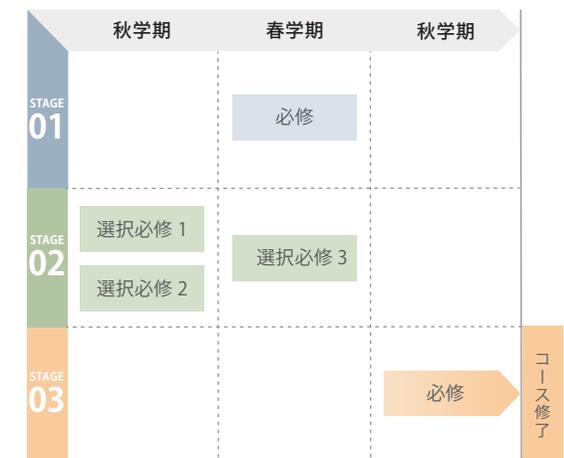
モデル01 1年で修了する場合



モデル02 2年で修了する場合



モデル03 秋学期から履修する場合



Topics

Topic 1 キャリアパスへの取組

視野が広がる。世界が広がる

GRMでは、汎用性と応用力を備えた基礎能力と高度なリテラシーを身につけ、ひとつの分野や職種に縛られずに社会で活躍できる人物の育成を実践します。

GRMは、これまでに30名を超える修了生を博士学位取得者として輩出してきました。そのうち約半数の修了生が、主に民間企業や企業の研究職などのノンアカデミック分野をファーストキャリアに選んでいることは、GRMの大きな特徴です。残りの半数は、大学や公的研究機関の研究職といったアカデミック分野に進んでいます。

多くのGRM履修生は、コースの履修やキャリア・コーディネーターとの定期面談、キャリア開発に役立つガイダンスなどから一人では得ることが難しいような専門性の高い情報を適切かつ多面的に得ます。それらをきっかけに、大学院修了後または博士学位取得後のキャリア開発について早期からより深く考え、高い目的意識を持って行動することで、自身の望んだキャリアを切り拓いています。

その結果、日本国内はもちろん世界の各地でGRM修了生は幅広く活躍し、文字通り社会を牽引しています。GRMであなたの視野を、世界を広げてください。

GRM修了生が活躍する進路

産

グローバル展開する企業で、文化摩擦による争議・衝突を未然に防ぐマネジメント力を備えたエンジニア・マネージャー
イノベーション戦略を描ける人材

官

グローバルリーダーとして、日本独自の援助・開発・紛争調停・平和構築をリードする公務員・政府系機関職員

学

現代のグローバル・イシューズに対する現実的分析能力を持ち、既成概念にとらわれず新たな地平を拓く先端的研究者

GRM修了生35名の進路

(2023年度末時点)

ノンアカデミック分野	アカデミック分野	その他、海外大学大学院進学等
14名	17名	4名

就職実績例

- 大手電機メーカー
- 大手分析・計測機器メーカー
- 大手空調機器メーカー
- 外資系大手不動産開発会社
- 外資系大手資源開発会社
- 外資系医療専門コンサル
- 国立研究開発法人
- 独立行政法人
- 国立大学研究員
- 公立大学専任教員
- 私立大学専任教員
- 海外大学研究員

Topic 2 GRMコモンルーム

履修生の学習環境充実のため、今出川校地・京田辺校地のそれぞれに「GRMコモンルーム」を設置しています。

場所は今出川校地：烏丸キャンパス志高館2階、京田辺校地：京田辺キャンパス訪知館1階にあります。コモンルームは、両校地をオンラインで繋ぎ遠隔授業教室として利用します。その他、ノートPC(日本語OS/英語OS)やA4プリンタ(白黒)を備えています。

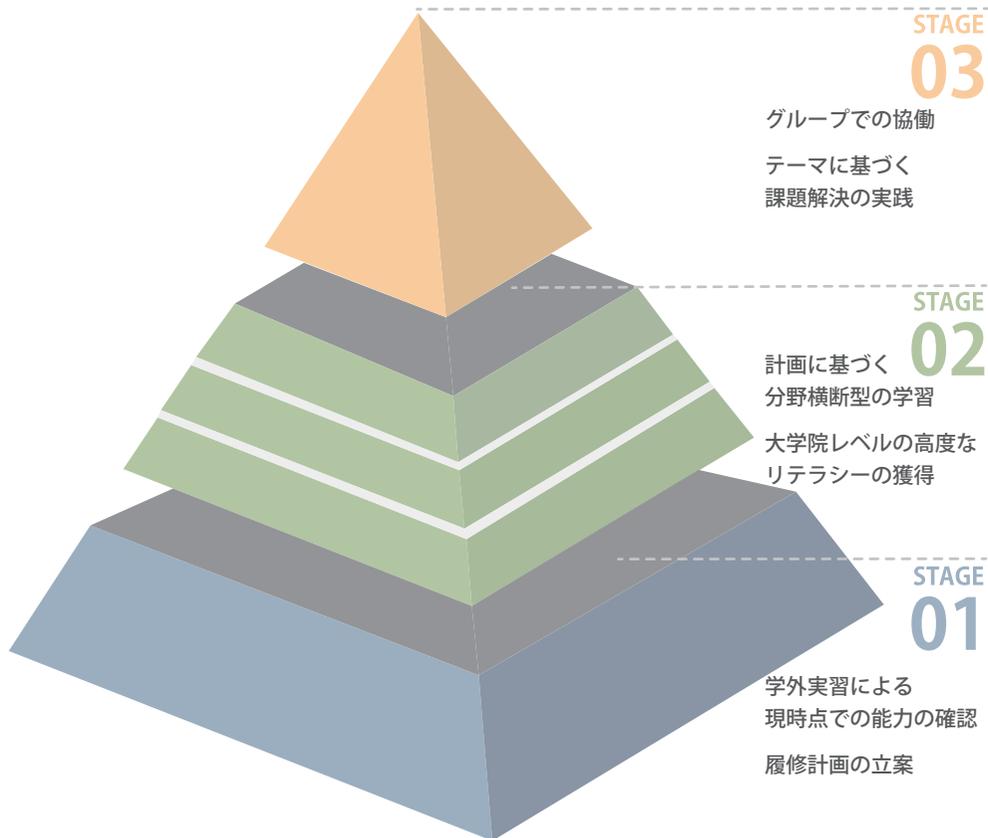
GRMコモンルームは、GRMコースの履修生だけが利用できる特別な学習環境で、履修生の交流の場としても利用されています。GRMコース履修生は、所属の研究科に関係なく両校地のコモンルームを利用できます。



GRMコースのカリキュラム

GRMコースのカリキュラムは、修了者が大学院学生にふさわしい高度なリテラシーと専門分野以外の基盤的知識を得て、実社会における困難な状況を克服できるだけの知恵とリテラシーを身に付けることができるよう設計されています。カリキュラムは3層構造になっており、GRMコースでは「自分の学習計画を自身で設計する」ことを基本にしています。1層目(コースの最初に履修する)と3層目(最後に履修する)の科目が必修科目となっていますが、その他は履修生自身で履修する科目を選択し、修了に必要な単位(5科目10単位以上)を修得します。自身の得意な分野や秀でた能力をさらに伸長させることも、不足していると思われる分野の学習を深めることも可能で、結果として履修生の積み上げた知識や経験は、一人ひとり違うものになります。

このコースの履修によって身に付けたひとつの領域にとどまらない知識やスキル、複眼的な視野は、社会で活躍するために欠かせないものです。大学院修了後のキャリア形成においても大いに役立ちます。



必修

○ On-site Group Work

学外での実習(海外または日本国内)を実施し、「現地の実情と課題」に触れます。現場での学びをきっかけに、自身がこれから習得すべき知識や開発すべき能力、必要な視点が何であるかを認識します。そして、今後の学習計画を自ら設計します。

GRMコースのカリキュラム

STAGE
02

選択必修

- Resource Management for Coexistence and Cultural Diversity
- Mathematics and Physics as Liberal Arts
- Infrastructure Design for Human Communities
- Environmental Earth Science as Liberal Arts
- Global Resource Management: Interdisciplinary Approach 1 -Natural Science
- Global Resource Management: Interdisciplinary Approach 2 -Humanity and Social Science
- Global Resource Management and Sustainable Development Goals 1
- Global Resource Management and Sustainable Development Goals 2
- Global Resource Management and International Relations
- Research Methods of Social Sciences
- Global Society in the Modern World
- GRM Topics 1 -Natural Hazards and Disaster Management
- GRM Topics 2 -Topics in Mathematics for Information and Data Sciences
- Capacity Development for Coexistence and Cooperative Works
- Introductory Laboratory of Infrastructures

STAGE
03

必修

○ Seminar for Advanced Liberal Arts

GRMコースでのこれまでの科目履修による自身のパフォーマンスの伸長を確認するために、現代社会における実践的な課題解決に取り組みます。自身がこれまでに学んだ知識やリテラシーを活用した学際的なアプローチだけでなく、グループでの協働が求められます。



GRMコース開講科目

選択/必修	科目名	単位数	学期	校地	授業区分
必修	On-site Group Work	2	春	田(今)	集中
選択 3科目必修	Resource Management for Coexistence and Cultural Diversity	2	春	ネット	講時
	Mathematics and Physics as Liberal Arts	2	春	ネット	講時
	Infrastructure Design for Human Communities	2	秋	ネット	講時
	Environmental Earth Science as Liberal Arts	2	秋	今	集中
	Global Resource Management: Interdisciplinary Approach 1 -Natural Science	2	春	田	講時
	Global Resource Management: Interdisciplinary Approach 2 -Humanity and Social Science	2	春	今	講時
	Global Resource Management and Sustainable Development Goals 1	2	秋	田	講時
	Global Resource Management and Sustainable Development Goals 2	2	秋	今	講時
	Global Resource Management and International Relations	2	春	今	講時
	Research Methods of Social Sciences	2	秋	今	講時
	Global Society in the Modern World	2	秋	今	集中
	GRM Topics 1 -Natural Hazards and Disaster Management	2	春	今	集中
	GRM Topics 2 -Topics in Mathematics for Information and Data Sciences	2	春	今	集中
	Capacity Development for Coexistence and Cooperative Works	2	春・秋	今・田	講時
	Introductory Laboratory of Infrastructures	2	春	今	講時
必修	Seminar for Advanced Liberal Arts	2	秋	今	集中

全科目とも配当年次は【M1～】です。

GRM コースの授業は、英語を中心に運営されます。履修生の語学力を考慮の上、部分的に日本語で行われることもあります。

校地は、今 = 今出川校地開講科目、田 = 京田辺校地開講科目、ネット = オンライン受講科目を指します。ただし、()で記載された校地のコモンルームで受講することも可能です。

「Seminar for Advanced Liberal Arts」を登録・履修するためには、「On-site Group Work」が履修済であるか、同一年度中に登録されている必要があります。

MESSAGE

本コースは、平成 24 年度の博士課程教育リーディングプログラム(リーディング大学院)複合領域型(多文化共生社会)において、採択された「グローバル・リソース・マネジメント」に由来する。

人間生活の基盤となる資源・エネルギー・インフラ科学と、地球規模の課題群を扱うグローバル・スタディーズの融合を基にした「グローバル・リソース・マネジメント」という文理融合の学際領域を学ぶという理念を継承しつつ、この間 10 年あまりにおよぶプログラムの実施によって得た知見をもって、2023 年度より新たに大学院共通教育科目プログラム「アドバンスト・リベラルアーツ科目群」を構成する「グローバル・リソース・マネジメントコース」として再編する。

大学院学生が社会で広く活躍するために、必要な能力は何であるかと問われれば、広義のリテラシーであるといえよう。これは、いわゆる「読み書き」の能力を指すのではなく、いわば「これまで得た知識を土台に様々な情報を活用して、未知の問題や困難、危機に対応できる知恵」と換言できる。もちろん大学院での学びによって身につけた専門性が重要であり、その根幹を成すことに疑いの余地はない。しかしその一方、それだけでは十分とはいきれない程度に社会が変容していることもまた疑いのないひとつの事実である。

このコースでは、専門性とは別の観点から学ぶことを重

視する。座学によって自身の専門分野以外の基礎的な知識を身に付けることと同様、災害や資源など地球規模的な課題を抱える現場を訪れ、現場から学ぶ過程や演習を重視する。コース履修生は、他の学生との共修により困難を克服した経験や、協働を通じた新たな気付きと刺激から成長を遂げるのである。これこそ、さまざまな要件が絡み、複雑さを増す現実社会の課題解決において求められる汎用的な能力、リテラシーであるといえる。

本コースは、「次の環境」協創コース、「Comm 5.0-AI・データサイエンス副専攻」とならび大学院共通教育プログラム「アドバンスト・リベラルアーツ科目群」を構成するコースのひとつである。コース履修生が大学院生・研究者としての広範なリテラシーを身にまとい、アカデミア、ノンアカデミアに関わらず社会の多様な分野で貢献できる人材を育て、輩出していくことが「グローバル・リソース・マネジメントコース」の人材養成目標である。

プログラム・コーディネーター

内藤 正典

(グローバル・スタディーズ研究科教授)





同志社大学
Doshisha University

高等研究教育院 <https://grm.doshisha.ac.jp>

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL: 075-251-3259 MAIL: ji-grmld@mail.doshisha.ac.jp